



# 消防環境ネットワークニュース

特定非営利活動法人 消防環境ネットワーク 第19号 平成28年12月28日発行

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2 NKKビル4階

TEL 03-5404-2180 FAX 03-5404-7372 URL <http://www.sknetwork.or.jp/>

## 1. 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2016」を開催

平成26年度に初めて開催した「改正155号通知に関する研修会」、及び平成27年度に開催した「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会」が大変に好評であったとともに、引き続き、「国家ハロンマネジメント戦略」に基づきハロン消火剤の回収・リサイクルの推進を図る必要があることから、今年度も「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2016」を開催しています。研修会ではハロン消火剤に関する内容のほか、消防庁予防課担当職員より最近の予防行政の動向についての講演も行われています。

参加人数は下表のとおりです（講師、事務局を含まず）。5会場合わせて364名となり、前年度開催の290名を大きく上回る参加人数です。

開催日	平成28年 12月2日	12月9日	12月16日	平成29年 1月13日	1月20日
会場名	仙台	名古屋	福岡	大阪	東京
参加人数	53	35	74	100	102

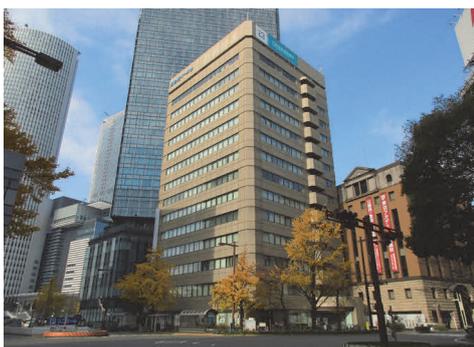
注）大阪、東京の両会場は、12月20日現在の申込者数。



仙台会場①



仙台会場②



名古屋会場①



名古屋会場②



福岡会場①



福岡会場②



福岡会場③



福岡会場④

## 2. ハロン 1301 回収再生設備の登録更新

次の2社よりハロン 1301 回収再生設備の登録更新の届け出があり、現地調査を行ってその内容の確認を実施しました。

会社名	所在地
松山酸素株式会社	愛媛県松山市西垣生町 2877 番地
株式会社イナートガスセンター	千葉県山武市松尾町借毛本郷 640 番地 1



松山酸素株式会社



株式会社イナートガスセンター

### 3. 入会

次の4社より、入会の申し込みがありました。

会員 CODE	会社名 (所在地)	会員区分
6002	日新製鋼株式会社 (大阪府堺市西区石津西町5番地)	所有会員
6003	西日本電信電話株式会社 (大阪府大阪市中央区馬場町3-15)	所有会員
6004	セントラル硝子株式会社 (山口県宇部市大字沖宇部5253番地)	所有会員
6005	新明和工業株式会社 (東京都台東区東上野5-16-5)	所有会員

所有会員：ハロンのリサイクルシステムを強力かつ永続的に推進することを目的に、従前の「正会員」「賛助会員」に加えハロンユーザーである「所有会員」を設けたもの。

### 4. ハロン消火剤及びハロンを除くガス系消火剤の登録状況

平成28年度(平成28年4月～11月)のハロン供給及び回収実績、ガス系消火剤の登録状況(ハロンを除く)は、次のとおりです。

#### ● ハロン供給及び回収実績

供給ガス	164件、約125.5トﾝ (前年度累計 208件、約202.3トﾝ)
回収ガス	308件、約117.0トﾝ (前年度累計 438件、約171.1トﾝ)

「供給ガス」は、設置ガスと補充ガスの合計です。また、平成28年12月20日現在、ハロン1301の登録件数は約45,000件、消火剤量は約16,320トﾝです。

#### ● ガス系消火剤の登録状況 (ハロンを除く)

二酸化炭素	98件、約117.7トﾝ (前年度累計 179件、約307.1トﾝ)
窒素、IG-55、IG-541	195件、約131.5千m <sup>3</sup> (前年度累計 311件、約256.7千m <sup>3</sup> )
HFC-23、HFC-227ea、FK-5-1-12	63件、約21.9トﾝ (前年度累計 185件、約70.2トﾝ)

### 5. 幹事会

幹事会の開催日及び主な議題は次のとおりです。

#### ● 開催日

第66回 8月23日、 第67回 10月26日、 第68回 12月21日

## ● 主な議題

- ・ 平成 28 年 6 月～11 月のハロン回収量及び供給量の実績報告
- ・ 平成 28 年 6 月～11 月のガス系消火剤（ハロンを除く）の登録状況報告
- ・ 平成 28 年 6 月～11 月の活動計算書報告
- ・ ハロン 1301 回収再生設備の登録更新確認結果報告
- ・ 第 38 回モントリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG38）出張報告
- ・ 「ハロン消火剤の優位性等に関する検討会」の報告
- ・ 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2016」の開催
- ・ WEB サイトリニューアル WG の報告

## 6. 第 38 回モントリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG38）

国連環境計画（UNEP\*）は、平成28年7月18日（月）から7月21日（木）までの4日間、オーストリア・ウィーンのウィーン国連事務所国際会議場で、第38回モントリオール議定書締約国公開作業部会（OEWG38\*）を開催しました。OEWGは、197の国と地域（EU他）の代表、国連関係機関、環境NGO及び各国産業界からの参加者（出席登録者数 約450名）による会合であり、モントリオール議定書締約国会合（MOP\*、同議定書の総会に相当。平成28年は10月にルワンダ共和国・キガリで開催。）で採択するための決議案の検討及び各国からの提案や要請事項等を整理するために開催されるMOPの準備会議です。

オゾン層保護のための国際的取り組みである「モントリオール議定書」の議論の動向確認や、OEWG会期中に日本のハロンに関する提案や要望が他国から提起された際に、その場で日本国（消防庁）として適切に対処することを目的に総務省消防庁予防課から伊藤設備専門官に出席いただき、消防環境ネットワークの木原副会長、柴田事務局長と能美防災(株)八木氏（ハロン技術選択委員会（HTOC\*）委員）がアドバイザーとして同行しました。



会議場（左手後方、黒色の建物）



会議中のようす

\*

UNEP : United Nations Environment Programme

OEWG38 : 38<sup>th</sup> Open-Ended Working Group

MOP : Meeting of Parties to the Montreal Protocol

HTOC : Halons Technical Options Committee